

Introduction

～ まちの人紹介 ～



オホーツク温泉ホテル日の出岬

支配人 ^{くどう} 工藤 ^{まさゆき} 雅行 さん

「お客さまの笑顔が私たち社員家族を豊かにします」
 高校時代に地元ホテルでのアルバイトをしたことをきっかけにホテル業界に興味を持ちはじめた工藤さん。
 旭川市内などでホテルマンとして経験を積み、旭川ブランドホテルを退社後、8月からホテル日の出岬の新たな支配人として就任しました。
 「ゴルフ、スキーなどもしますが、人と関わるのが好きなので、それが趣味みたいなものです。異業種交流会などにも参加している、ホテル日の出岬の支配人募集についてもそんな交流を通じて知りました」と人脈が広いことがうかがえます。
 「話を頂いたとき、とても嬉しく思いました。ホテルで長く働いている者が『人生の中で、一度は経

験してみたいと思う仕事」が支配人なんです。支配人は何でもできなければなりませんので、朝食の片づけから清掃まで、どんなことでもスタッフと一緒にやっていきたいです」とホテルマンとしての思いを話します。
 「それぞれのホテルの位置づけがありますが、ホテル日の出岬は、町民や近隣市町村の利用者に愛されるホテルであり、町外から宿泊されたお客様に喜んでいただけることが理想です。また、支配人としては、お客さまに安心で安全な料理、サービス、施設を提供すること。それと同時に、社員とその家族に働いて良かったと思える職場づくり、環境づくりをしていきたいです」
 「ホテル日の出岬は、皆さまに支えられて創業20周年を迎えます。これからも愛されるホテルであるようにスタッフ一同頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼気付けば空も高くなり少しだけ秋の気配を感じるようになりましたね。今年の十五夜は、9月24日になります。天気が良ければ町内のどこかへ写真を撮りに行こうかと思っています。季節の移り変わりを感じられる写真を撮るといいなと思います。(大辻)

◆編集後記

Editor's note

▼商工会青年部のビアパーティーは骨付き生ハムや高級佐賀牛販売など面白いアイデアが満載でした。中でもターンテーブルを前にDJがスクラッチをするクラブのような空間で、焼き床をする景色は何とも言えない面白さでした。80年代の名曲がとても心地よかったです。(内宮)